

研究者情報

フリガナ 氏名	ヤブガミ アツヒロ 藪上 敦弘	職名/学位	助教
所属 学科	練習船広島丸	所属学会	特になし
専門 分野	船外給電	利用可能な 設備等	・練習船広島丸、小型舟艇 ・操船シミュレータ ・ECDISシミュレータ

研究テーマ

- ・船外給電
- ・教育の変革

海事人材育成のための学びの変革

海事技術者(海事人材)として必要な学力を育成し得る商船学正課教育の改善を行うことが求められている。本研究の目的は、商船高専の技術者教育基盤を活用しながら、一般から専門へスムーズに接続した商船学の正課教育を実現するための調査を行う。そして、学生が学び易く理解し易い商船学の教授方法、分かり易い動画教材の試設計を行う。

特に、つぎの点を明らかにする。

1. 一般教育との連続性を強化した専門教科教育の要件と展開手法の開発
2. 一般教育との連続性を強化した専門教科の動画教科書の試作
3. 一般教育と専門教育の連続性を評価するシステムの要件と実施手法の開発



本研究の成果・適用分野・アピールポイント

・学術的な特色

現在までの商船学正課教育は国土交通省の定める船舶職員養成科目を満たすことを最優先の条件として構築されて来ており、産業・技術教育の視点から調査・解析し、報告された例はない。

本研究は産業・技術教育の視点から商船学正課教育について調査・解析する研究であり、特に、正課教育を構成する一般と専門の連続性の確保に着目していることは独創的な特徴である。

・期待される成果と意義(波及効果)

商船学教育機関は、1972年の石油ショック以降の海運界の合理化の影響を受け、学科数の減少などを繰り返し、学生の学力、気質が大きく変貌している。しかしながら、古い教科書を用いた従来通りの教科目授業が展開されているのが実情である。本研究は、現在の商船学科学生の学力と気質に対応した一般教育、そして、スムーズに接続する商船学・専門教育の要件と展開法を明らかにするものである。本申請の成果は、海運会社の新人海事技術者や水産系及び国土交通省系の船員養成学校においても利用可能であり、波及効果が非常に高いと言える。

提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	可	可